



伊豆市議会だより

No.65

2020.8.1 発行

発行: 伊豆市議会 <http://www.city.izu.shizuoka.jp>

編集: 議会広報委員会

〒410-2413 静岡県伊豆市小立野38-2

TEL 0558-72-9906



(修善寺 虹の郷)

目次

■ 6月定例会の概要	2
■ 一般質問 ～市政を問う～	6
■ 伊豆市議会からのお知らせ	10
■ 政務活動費の報告・9月定例会の予定等	12



議会ホームページへ

令和2年 6月定例会

一般会計の総額は 219億400万円になりました

令和2年度補正予算

◆一般会計補正予算（第3回）

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の生活を支援する取組のひとつとして、児童手当を受給する世帯に対し一人当たり1万円を一時金として支給する「臨時特別給付金」に係る事務及び給付金等の事業費2864万円を増額する。

◆一般会計補正予算（第4回）

休業等に伴い収入が減少した方に対する住宅確保給付金として223万円、介護施設で感染者が発生した場合の消毒・洗浄経費に対する補助金として600万円を計上する。

その他、土肥支所の外壁工事に

7070万円、旧天城湯ヶ島支所機材倉庫の復旧工事に2000万円、駿河湾フェリー運航負担金に450万円などを計上する一方、定期人事異動に伴う人件費を減額するなど、総額予算を1億2906万円増額する。

◆一般会計補正予算（第5回）

国の第2次補正予算に計上された新型コロナウイルス感染症対策に対応するための補正予算。

低所得のひとり親世帯への臨時特別給付金事業3658万円のほか、放課後児童クラブ、こども園、市内小中学校に感染症予防のための消耗品や備品を購入し、子育て環境を維持するため、市内認定こども園等に対する感染症緊急包括支援交付金950万円を計上。

また、生きいきプラザ会議室等の施設を換気するための網戸を設置する工事費として199万円を計上するなど、総額7510万円を増額する。

これにより、歳入歳出予算の総額は219億400万円となる。

条例

◆伊豆市非常勤特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

児童発達支援センターに必置となる嘱託医及び不在者投票施設における不在者投票時の外部立会人の報酬について改正するもの。

◆伊豆市国民健康保険条例の一部改正について

「地方税法施行令」の改正に伴う軽減判定所得基準額の引き上げと、新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少したこと等を理由として国民健康保険税の減免を受ける場合の申請書提出期限の特例を設ける改正を行うもの。

◆伊豆市国民健康保険条例の一部改正について

国民健康保険に加入する被保険者が新型コロナウイルス感染症に感染した場合等に、市が傷病手当金を支給するための特例を設けるための改正を行うもの。

◆伊豆市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について

静岡県後期高齢者医療広域連合において、被保険者が新型コロナウイルス感染症に感染した場合等に傷病手当を支給するための条例改正をしたことから、当該事務の受付を伊豆市において行うことができるよう改正を行うもの。

人事

◆教育長の任命

西井 伸美のぶみ教育長が6月30日付で退任することとなったため、西井教育長の残任期間について、梅原 賢治けんじ氏を教育長に任命することに同意した。

任期は、令和2年7月1日から令和4年5月11日まで。



委員会の議案審査で、次のような質疑がありました

総務経済委員会

◆一般会計補正予算(第4回)

問 観光振興事業の駿河湾フェリー1の運休に伴う運航負担金の総額及び3密を避けるための特別室の改修費は、この運行負担金には含まれるのか。

答 今回の休業は4月20日から6月30日までの2か月余で、1か月あたり950万円、総額では2250万円となっており、伊豆市の負担は総額の20%にあたる450万円です。

船の改修は、船室の換気のための窓の改修と空気清浄機の設置で県の負担と聞いています。

問 萬城の滝キャンプ場管理事業の減額の理由について。

答 当初、萬城の滝キャンプ場管理の運営形態は非常勤職によるものとして4人の会計年度任用職員

の報酬を予算計上しました。

予算編成後、今年度の萬城の滝キャンプ場は指定管理制度に移行するための期間とし、非常勤職の会計年度任用職員でなく、正職員と同等の任期付職員として雇用することとした補正です。

◆伊豆市非常勤特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

問 条例の改正内容の詳細について。

答 児童発達支援センターの嘱託医の日額の報酬額を定める規定の部分と指定病院等における不在者投票の外部立会人の時間単価について改正するものです。

教育厚生委員会

◆一般会計補正予算(第4回)

問 要保護・準要保護認定世帯昼食費相当額交付金の対象人数及び期間は。

答 対象人数は146人で、期間は1学期間です。

問 住居確保給付金の対象と支給

額の基準は。

答 離職者であって就労能力、就業意欲がある方が住居を失った、もしくは失う恐れがある場合が対象です。

支給額は生活保護世帯の基準額として、単身では3万7200円、2人世帯では4万5000円と上限額が決まっています。

◆令和2年度伊豆市国民健康保険特別会計補正予算(第1回)

問 傷病手当は国民健康保険には無い制度であるが、新型コロナウイルス感染症対策の時限立法ということがあるか。

答 特例的に傷病手当金の支給ができるという形になっており、対象期間は令和2年1月1日から令和2年9月30日となります。ただ、国はコロナの状況によっては変わるかもしれないということは言っています。

◆伊豆市国民健康保険条例の一部改正について

問 傷病手当の対象者に農業や漁業の事業主は含まれるか。

答 事業主については支給の対象

外になります。あくまでも従業員に対しての支給となります。

討論

議案第52号 令和2年度
一般会計補正予算(第4回)

反対討論 (森 良雄議員)

この予算にはアフターコロナ対策はありません。予算の歳入のほとんどは繰入金と市債です。主な歳出は土肥支所庁舎改修工事です。生活困窮者自立支援事業はあってもコロナで困窮している層のみなさんは置き去りです。

駿河湾フェリー運行補助金の450万円は、赤字解消のための方策ではありません。民間からの移譲で無責任な団体となりました。萬城の滝キャンプ場管理事業は正に伊豆市の行き当たりばったりの思い付き行政です。

直営だ指定管理者だ、行き先不明の施設です。

アフターコロナに必要なのは行政のデジタル化です。教育のデジ

タル化です。
補助教員の充実を進めましょう。
デジタル化のためには端末はすぐ
にでも用意しましょう。

賛成討論

(間野 みどり議員)

本案は伊豆市にとって、コロナ対策の関係で、大変な思いをして
いる市民が、少しでも気持ちがあ
らぎ、早く以前のような生活がで
きるようにとの努力の案件であり
ます。

2点、評価感想を挙げると、生
活困窮者自立支援事業です。要保
護・準要保護認定世帯の昼食費相
当額を交付する事。コロナの関係
で住居を失いそうな方への補助。
これで解決ではないけれど心の負
担の軽減に繋がります。もうひと
つは、もしも介護施設等でコロナ
感染が発生した場合を想定しての
消毒代等です。
今は何より、市民を安全にコロ
ナから守る事が大切です。賛成い
たします。

この他、令和2年度伊豆市一般
会計補正予算(第5回)について
賛成討論が1件ありました。

令和2年4月臨時会

令和2年度補正予算

◆一般会計補正予算(第2回)

「特別定額給付金」の給付に必
要となる事務費及び給付金、市内
宿泊・飲食業者への営業自粛要請協
力金の2次支給分、今後の感染症
対策に迅速に対応するための予備
費など、総額37億300万円を増
額する。

人事

◆伊豆市副市長の選任

静岡県職員の佐藤 信太郎氏を
副市長に選任することに同意した。
任期は、令和2年5月1日から
4年間。

◆伊豆市教育委員会委員の任命

西尾 真澄氏を教育委員会委員
に任命することに同意した。
任期は、令和2年5月12日から
4年間。

令和2年4月臨時会で審議した議案

■賛否が分かれた議案

件名	議決結果	波多野晴明	山口 繁	星谷 和馬	間野みどり	下山 祥二	杉山 武司	青木 靖	永岡 康司	小長谷順二	小長谷朗夫	西島 信也	杉山 誠	森 良雄	木村 建一
令和2年度伊豆市一般会計補正予算(第2回)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
伊豆市副市長の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
新型コロナウイルス対策に関する決議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○

※1 ○賛成 ×反対
※2 議長(三田忠男)は、可否同数の採決以外は、採決に加わりません。

■全会一致で可決した議案等

伊豆市教育委員会委員の任命について

議員発議

●新型コロナウイルス対策に関する決議

伊豆市議会は、市民の生命と健康を守り、経済活動維持に向け、行政と連携、協力して新型コロナウイルス感染症対策に全力で取り組むため、市に対して要望を行いました。

(※一部抜粋・要約)

- ・積極的な情報収集と適切かつ迅速な情報提供
- ・スピード感を持った支援拡大による、安心できる市民生活の確保
- ・感染症の影響による生活困窮者に対する迅速な対応
- ・学校休業に伴う子どもたちの学習への影響が出ないための対策を講じること
- ・感染者急増による医療崩壊を防止するための体制確保(PCR検査体制の強化、不足している医療機器等の支援)等について県・国に対し要望すること

決議の全文は、伊豆市ホームページの「可決した意見書・決議」に掲載しています。

令和2年6月定例会で審議した議案

■賛否が分かれた議案

件名	議決結果	波多野靖明	山口 繁	星谷 和馬	間野みどり	下山 祥二	杉山 武司	青木 靖	永岡 康司	小長谷順一	小長谷朗夫	西島 信也	杉山 誠	森 良雄	木村 建一
令和2年度伊豆市一般会計補正予算(第4回)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
人事															
教育長の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○

※1 ○賛成 ×反対
 ※2 議長(三田忠男)は、可否同数の採決以外は、採決に加わりません。

■全会一致で可決した議案等

令和2年度伊豆市一般会計補正予算(第3回)	令和2年度伊豆市国民健康保険特別会計補正予算(第1回)
伊豆市非常勤特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	伊豆市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について
伊豆市営住宅条例の一部改正について	伊豆市税条例等の一部改正について
伊豆市国民健康保険税条例の一部改正について	伊豆市国民健康保険条例の一部改正について
伊豆市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	伊豆市介護保険条例の一部改正について
令和2年度伊豆市一般会計補正予算(第5回)	財産の取得について

市政を問う

～一般質問～



録画配信へ

6月定例会での一般質問は、11名の議員が行いました。
質問と答弁を要約してお知らせします。(質問順)

質問

新型コロナウイルス 感染症対策と今後の対応



(小長谷 順二議員)

当市は、いち早く「新型コロナウイルス対策本部」を設置し、感染

防止対策や安全安心な市民生活のための事業に取り組んできました。そして、全員協議会でコロナ対策について議会とも協議を重ねてきましたので、これまでの新型コロナウイルス感染症対策の検証と刻々と変わる状況下における今後の対応について伺います。

市長 答

伊豆市としての新しい 生活様式への対応

伊豆市では対策本部を設置し、経済対策チームと感染拡大防止チームをおきました。まず、市民の生命を守ることを第一に宿泊施設・飲食店・観光施設の営業自粛をお願いし、市民向けのチラシの配布、相談窓口の設置などを行い、これまで市内での感染者が出ていない状況になっています。

現在、国の示す新しい生活様式に基づき、伊豆市としての新しい生活様式を策定させているところであり、出来次第、市民の皆様に配布するよう考えています。

質問

避難所での感染対策を いかに進めますか



(杉山 誠議員)

新型コロナウイルス感染症が収束しない中で、これから本格的な

梅雨・台風シーズンを迎え、感染を広げないために自然災害にどのように備え、行動すべきかが問われています。
避難所の過密を抑制するための分散避難、ホテルや旅館などの活用を含め、従来から環境の悪さが指摘されていた避難所の環境改善をいかに進めますか。

総務部長 答

県のガイドラインに基づき 対策を講じる

避難所における新型コロナウイルス感染症対策については、県において、国の指針に沿った避難所運営ガイドラインの作成に取り組んでいます。市としてもそれに基づき、必要な対策を検討しているところです。3密を避けるための通常より広いスペースの確保、間仕切り等の資器材の確保、さらには感染の疑いのある人が避難してきた場合の対応など多くの課題がありますので、市民の方には、感染症を踏まえての避難行動について広報7月号でお知らせする予定です。

質問

伊豆市学校教育
ICT環境の整備



(波多野 靖明議員)

伊豆市教育委員会は家庭のインターネット環境について、保護者

にアンケート調査を行ったと聞きますが、その結果についてお聞きします。また、一部の市町では全生徒にタブレット端末の配布を検討していく事を、新聞報道で知りました。伊豆市の教育環境のICT化はどの様にお考えでしょうか。

長弁
ICT環境整備のサポート体制の充実

Wi・Fi環境がない児童生徒は約1000人、タブレット等がない児童生徒は約1000人で、これに対応するWi・Fi環境の整備や貸し出すためのタブレット等が必要になってきます。

国は、児童生徒1人1台端末とネットワーク構築の事業を進めていますので、伊豆市においても、今回のアンケート結果を踏まえながら、学校でのICT環境について何をどの程度整備していく必要があるのかを、職員の研修やサポート体制を含めて検討をしていきます。

質問

新ごみ焼却施設整備と
ごみの減量化



(永岡 康司議員)

伊豆市・伊豆の国市から出るごみの総量は66t/日です。今後、4年間行政を預かる市長に、次の考えをお聞きします。

- ①紙の再資源・再利用を進めませんか。
- ②使用済み紙おむつの再処理・再利用を進めませんか。
- ③木皮の200tを焼却処分せず、土壤改良剤として使用できませんか。

長弁
焼却処理も土壤改良材も同じ効果

③地球温暖化対策という点では、木皮の焼却処理も腐らせて土壤改良剤とするのも効果は同じです。焼却処理によって発電すること、化石燃料を燃やして作る電気を買う必要がなくなります。

長弁
市民部答

①令和元年度の古紙類の回収は、小学校等が行っている集団回収も含め、918tであり、これらは全量再資源化されております。

②国の動向を踏まえ、県や近隣市町との連携等を踏まえながら状況を見ていきたいと考えています。

質問

副市長就任によせて



(星谷 和馬議員)

伊豆市の人口は毎年大幅に減少し、企業、産業の実態は全て中小零細事業であり、また基幹産業の観光関連は新型コロナウイルス感染症の影響で多大な損害を受けております。

そこで、本年5月に就任された副市長に、市長はどの様な役割を期待しているか伺います。

長弁
部局の統括と国・県との緊密な連携を期待

私が市長に就任してから12年、4代目の県職員の割愛となります。伊豆市が直面する課題は、新市建設事業であれ、産業振興や人口減少対策であれ、国及び県との緊密な連携と財政支援なくして必要な事業を推進することはできません。

副市長にはこれまでと同様、市長部局の統括、教育委員会をはじめとする市長以外の執行機関との調整、国・県との連携にその知見と職能を存分に発揮してほしいと期待しています。

質問

「新しい生活様式」に
応えた教育環境を



(木村 建一議員)

新中学校建設などで、新型コロナウイルス感染症から生徒たちの心と体の健康を何よりも優先することが求められています。新型コロナウイルス感染症対策専門家会議が示した「人との間隔はできるだけ2メートル、最低1メートル空ける」新しい生活様式に応えた教育環境への対応をお尋ねします。

長井 教育
教答

学校の新しい生活様式を
導入し密集を回避

文科省から学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアルが示され、市内の学校においても「新しい生活様式」を踏まえ「3つの密」を徹底的に避けるため「マスクの着用」「手洗い」など基本的な感染対策を継続するとともに、マニュアルの行動基準に沿って、児童生徒の密集を回避するために1メートルを目安に学級内で最大限の間隔を取るように座席配置をし、給食の際も机を向かい合わせにしないなどの感染対策を工夫しています。

質問

4期目に臨む市長の
所信表明を問う



(山口 繁議員)

3期12年の実績を土台にした市政の集大成ともいえる重厚な所信が求められます。そして何よりも、3万人市民の共感を得るものであり、9千人支援者の期待に応えるものでなければなりません。これまで中止を余儀なくされた事業がありますが、それについては失敗の本質をしっかりと捉え、次なる政策に活かす必要があります。

長井 市答

最良のベターを目指す

この事業は、国や県との連携が成立しないとか、財源の確保に失敗したとかではなく、議会による否決が唯一の理由です。従って、逆（議員）の立場からは「成功した」「目的を達した」ということになります。私の立場では、あくまでも文教ガーデンシティ構想が「市政の集大成を目指した重厚な所信」です。それを実現できない今、これから出来るより良いものの中から一番良いものを選ぶ、わかりにくい表現かもしれませんが「最良のベター」を求めてまいりたいと考えています。

質問

政策の実効性を高める
行財政改革とは



(青木 靖議員)

市長は、6月定例会冒頭の所信表明の中で、「政策の実効性を高める行政改革」を掲げています。ここで「簡素で効率的な組織」をつくる、「事務事業のあり方の見直し」を行う、としています。具体的に示していただきたい。

今後、合理化やスリム化といった行政改革を進めながら、いかに市民サービスの充実を実現していくのですか。

長井 総務部
総答

総合的なアウトソーシング
で行政サービスの向上を

これまでの行政改革で、職員数の削減や歳出削減、事業の見直し等の改革を進め大分スリムな行政運営が図られていると考えております。なお一層進めるために、今後は民間にできることは民間にお願いし、職員負担を減らしていき、職員には本来行うべき業務に集中をさせていきます。併せて、事務事業のあり方については、総合的なアウトソーシングを検討し、定型的な窓口業務は集約するなど総合的に民間委託することも考え、更なる行政サービスの向上を目指します。

質問
地方分散型社会への転換をどう捉えるか



(杉山 武司議員)

東京一極集中が新型コロナウイルス感染症のリスクを顕在化させ、大都会の感染症への脆弱性がクローズアップされた。持続可能な社会への対策は地方分散型社会へのシフトしかない。これを機に一極集中の是正が進む地方創生が今期から第二期に入る。伊豆市の人口減少対策にも好機となるが、今後の伊豆市の政策を伺います。

市長 長弁 市答
東京一極集中を是正していく大きなチャンス

3密を回避するため、地方の、特に伊豆市の安全をPRして、テレワークの推進やサテライトオフィス、BCP（事業継続計画）として企業の拠点分散などの推進により、東京一極集中を是正していく大きなチャンスにしていくべきだと考えています。今年度作成する第2次総合計画後期基本計画も、分散型社会を見据えて策定し、着実に実行してまいります。

質問
働き方改革は電算機のクラウド化から



(森 良雄議員)

伊豆市の業務でクラウド化を進めている業務はありますか。

三島市、伊豆市及び伊豆の国市は3市で構成する電算センター協議会を組織しています。この電算センターの昨年度の大きな仕事はクラウド化です。伊豆市もその恩恵にあずかっています。障害者福祉業務を電算センターへ移すことを考えませんか。

総務部長 長弁 市答
障害者福祉業務はクラウド化します

現在、伊豆市で単独運用している障害者福祉業務は、今年11月から電算センターへ移行し、あわせてクラウド化する予定です。

《クラウド化とは》

企業や官庁などの情報システムで、自社内に機器を設置して運用してきたシステムを、ネットワークを通じて、外部の事業者のパソコン等からのサービスを利用する方式に移行すること。

質問
市長選挙法定ビラの活かし方



(西島 信也議員)

本年4月に行われた伊豆市長選挙において、菊地ゆたか事務所

が配布したビラの中に『新ごみ焼却場建設に反対、文教ガーデンシティに反対、さらに新年度予算にも反対した元市議が出馬表明！』との記事が書かれていたが、
①どのような意図でこれを掲載したのか。
②今後この記事をどのように市政運営に生かそうとするのか、あわせてお尋ねします。

市長 長弁 市答
市長選挙における法定ビラについて

市長選挙における法定ビラは私の後援会及び選挙対策本部スタッフが相談して作成しましたが、ご指摘の部分を入れることに私も同意しました。選挙戦において、事実を前提に議論しなければ、市民を惑わすことになるとの強い危機感があったためです。

約1500万円の公金を投じて実施する選挙において、事実を前提として政策を戦わせない、市民にとって主権の行使である政策の選択になりません。

～市民のみなさまへ～

◎伊豆市議会の新型コロナウイルス感染症対策について

傍聴の方へ お願い

- ・傍聴の際は、マスクの着用をお願いします。
- ・傍聴希望者が10名を超える場合は、別室で中継映像による傍聴とさせていただきます。
- ・発熱や咳などの症状がある方は、傍聴をお断りさせていただきます。
- ・議会開催中の感染者発生に備え、受付で「住所・氏名・連絡可能な電話番号」を記載していただきます。
- ・委員会の傍聴の場合、一般の傍聴者様は別室で中継映像による傍聴をお願いします。

議場内 「密」の防止

- ・議員に1回の議案質疑の発言時間を3分以内、討論を10分以内に終了するよう心がける制限を実施します。
- ・議員同士の間隔を広くするため、議席の位置を変更しています。



6月定例会 議場内の様子

◎本会議映像の配信方法が変わります

これまで、Windows Media Playerで配信していた本会議の生中継が、スマートフォンやタブレットでもご視聴いただけるようになりました。

また、You Tubeで配信していた録画映像も、生中継と同じサイトで配信するようになります。スマートフォンからご利用の方は、下記QRコードからご覧ください。



※この伊豆市議会のインターネット中継（映像及び音声）は、伊豆市議会の公式記録ではありません。

伊豆市議会からのお知らせ

◎議会費削減を市長に申し入れ



伊豆市はいち早く、新型コロナウイルス感染拡大防止のため宿泊業者及び飲食業者に対し営業の自粛要請を行うなどの対応を行うことで、市内での感染者発生をゼロにすることができています。

また、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている市民や市内事業者に対し、国民健康保険税や給食費等の免除、市税・水道料金等の徴収猶予、市内飲食店で利用できる「食っ得券」の発行、地域経済応援給付金などの対策を実施してきました。

伊豆市議会も新型コロナウイルス感染症への対応について、議会全員協議会で協議しました。その結果、令和2年度予算の政務活動費や常任委員会視察研修等の議会運営費を一部執行せず310万円の財源を確保することを決め、この財源で新型コロナウイルス感染症による影響が大きいとされる生活困窮者への対策を講じる様に市長に申し入れを行いました。

◎会議録に関する議会運営委員会からのお知らせ



伊豆市議会は、本会議の会議結果をホームページにて録画配信すると共に閲覧用会議録を掲載しております。伊豆市の会議録は、議長と指名された議員2名が、会議録に記載・記録された内容の真正を確保するために原本に署名するとして、閲覧用会議録には署名者の名前を記載しております。

現在公開している令和2年3月定例会の会議録は、会議録署名議員が1名欠けている状態となっております。これは、会議録署名人に指名された森良雄議員が、令和2年3月定例会において議長より、議会会議規則の規定により削除を命じられた森良雄議員発言の部分が、閲覧用会議録から削除されていることを理由に署名を拒否した為のものです。

解説書によると、「会議録の作成は、署名が終わって完結するものであると解されているので、署名議員は会議録の作成者としての職務を有するとされ、署名議員は会議録の内容が事実と異なるなどの理由がある場合は、署名を拒否できるとされているが、正当な理由なくして署名を拒否することは、署名議員として職務を放棄したものとし、懲罰の対象となる」と解説されています。

今回、議会運営委員会では、懲罰を求めることまではしないものの、会議録がホームページにも掲載される等から、市民に事実を報告する必要があるとされたため、お知らせ致します。

令和元年度政務活動費の執行状況

(単位：円)

会派・個人名	所属人数	収入		支出				返還額
		交付金	調査研究費	研修費	資料作成費	資料購入費	支出計	
IZU未来	7人	1,260,000	87,159	525,846	34,900	143,662	791,567	468,433
市民第一クラブ ※1	2→3→2人	390,000	77,840	172,006		47,760	297,606	92,394
伊豆クラブ	2人	360,000		68,904		115,104	184,008	175,992
木村建一		180,000		108,020		16,980	125,000	55,000
森 良雄 ※2		180,000	100,736	67,718		17,433	185,887	0
西島信也		180,000	8,360	34,020		88,560	130,940	49,060
杉山武司 ※2		180,000		32,908		203,586	236,494	0
鈴木正人 ※1		120,000					0	120,000

※1 鈴木議員は令和元年11月15日市民第一クラブに加入し、令和2年1月23日に同会派を脱会

※2 支出が交付額を上回っている金額は自費

議会傍聴・視聴について

本会議はごなたでも傍聴することができませんが、現在、感染症対策のため傍聴席へ入る人数を制限しています。傍聴を希望される方が10名を超える場合は、別室で中継映像による傍聴となります。

本会議は、インターネットによる生中継と録画配信も行っています。ぜひご覧ください。

その他、傍聴に関するお問い合わせは議会事務局（0558-72-9906）までご連絡ください。

9月定例会の予定

場所 本庁2階 議場
時間 午前9時30分～
8月18日（火）行政報告
議案上程

21日（金）一般質問
24日（月）一般質問
25日（火）一般質問
9月1日（火）議案質疑
18日（金）委員長報告
質疑・討論・採決

※変更となる場合があります。ご了承ください。

9月定例会

委員会の予定

場所 本庁2階 議場
時間 午前9時30分～
9月2日（水）連合審査会
3日（木）連合審査会
7日（月）総務経済委員会
8日（火）教育厚生委員会

編集後記

6月定例会は、コロナウイルス感染症に関する議案、一般質問が多くありました。4月の緊急事態宣言後、市民の皆様には様々なご協力を頂いた結果、市内での感染者は確認されず、主幹産業である観光関連の営業も再開することが出来つつあります。コロナ渦の中、市民の声を聞く傍ら、心が下を向く事もございましたが、収束後のために準備をする事業者の皆様を拜見し、勇気づけられております。

議会広報委員 波多野 靖明